



2016-2018年 中期経営計画

グループ総合力を結集し食品物流をけん引します

2016年 1月12日
株式会社キューソー流通システム
(東証1部 証券コード9369)

グループ経営理念

わたしたちは
人と食を笑顔で結び
いつも信頼される企業グループです

食品物流企業としてめざす姿

明るく働きがいのある職場

従業員満足度

得意先にパートナーとして選ばれる

得意先満足度

社会に最も貢献している

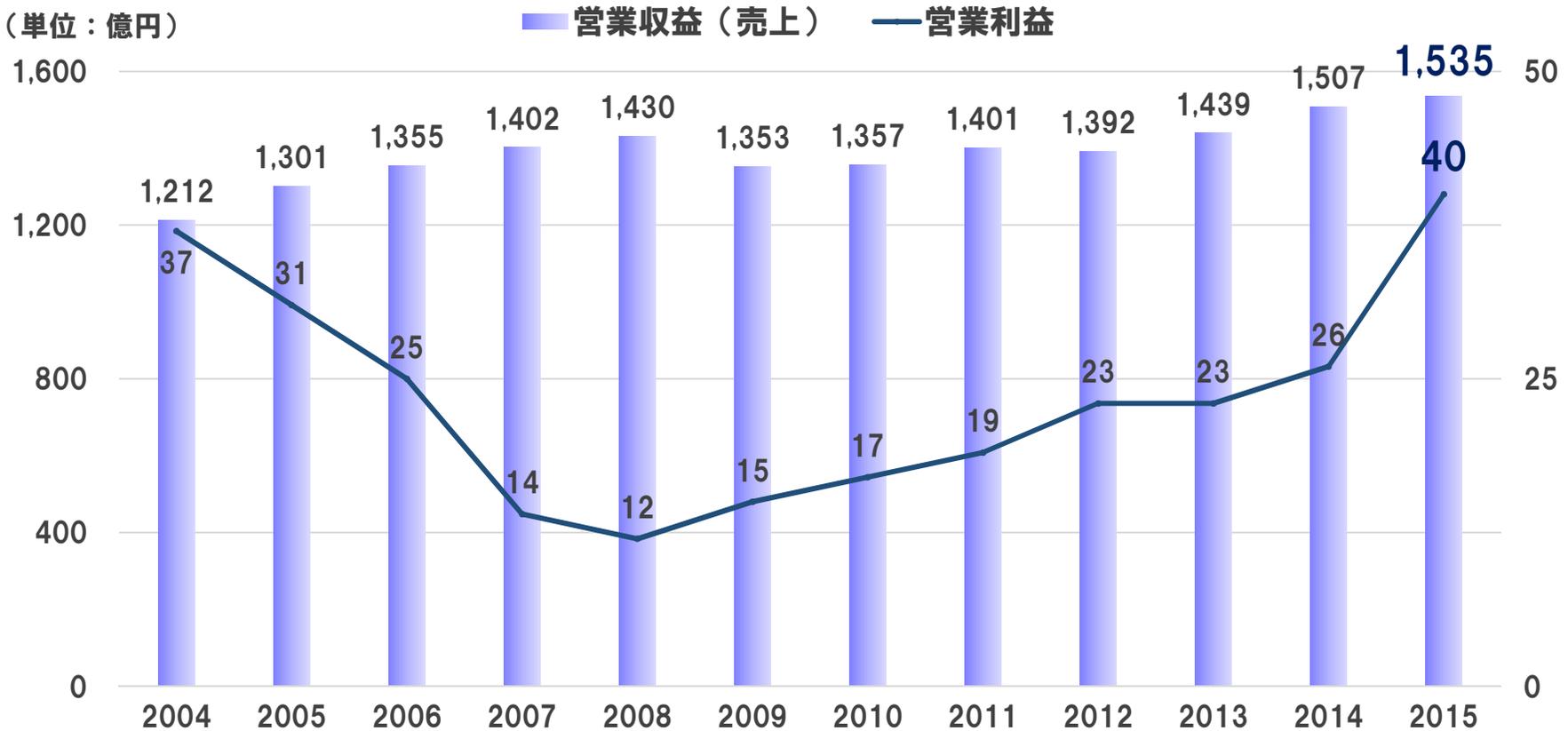
営業収益

将来に挑戦権を有している

営業利益

2013-2015中期経営計画の総括

(単位：億円)



2004～

2007～

2010～

2013～

<お客様中心主義>
◇規模拡大の追求

<原点回帰>
◇収益体質の改善

<意識改革>
◇プロセス重視
◇施策・施策外管理

<新グループ経営>
◇新事業区分に変更
◇事業担当制の推進

2013-2015中期の総括

攻める事業領域を明確にし、効率化を追求。大型投資も乗り越え**定量目標達成**
再び**成長軌道**へ乗せることは出来たが、まだ利益率は低く今後も**挑戦が必要**

当社グループを取り巻く環境

人口減少や節約志向
による消費停滞

人材・車両不足

環境・法規制の強化

小売・商流業者の
台頭

地域間格差の広がり

食の安全・安心
ニーズの高まり

コストアップ要因（利益影響）
△42億円

グループの強み

全国ネットワーク（物流網）

総合力での展開

情報システムの充実

更に磨きをかけていく力

コスト競争力

グループ協働力

成長分野への対応力

グループの総合力で新たな成長ステージを実現させていく

3カ年のテーマ

グループ総合力を結集し食品物流をけん引します

副題

**魅力ある人と技術でベストパートナーとなり
環境と人にやさしい企業をめざします**

基本方針

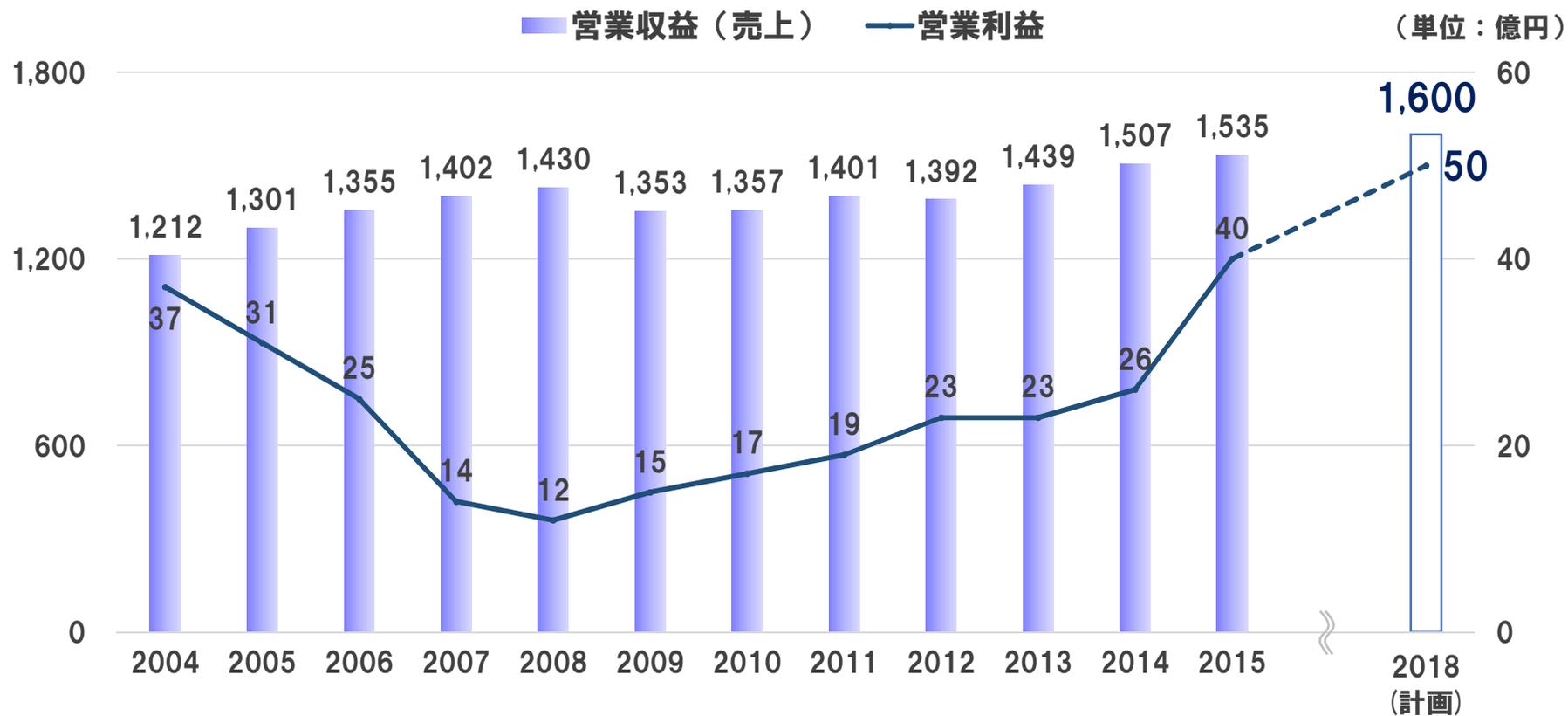
事業基盤の更なる強化

物流品質と技術力の向上

成長に向けた新たな展開

2016-2018中期経営計画 連結業績目標

2018年	営業収益	1,600億円	経常利益	50億円
	営業利益	50億円	親会社株主に帰属する 当期純利益	26億円
	営業利益率	3.1%	ROA	6.5%
			ROE	8.0%



グループ協働の深化

徹底して3事業の競争力を高め、事業基盤を盤石なものにする



事業の一体化

- 各社の役割と責任の明確化による機能強化
- グループ横断による資源のフル活用

グループシナジーの強化

- エスワイプロモーション専用物流から共同物流へ
- キューソー創栄会との協働

利益体質の向上

- 事業別営業利益率3.0%以上の達成

事業基盤の更なる強化

➤ 収益力の強化

3カ年の合理化改善金額
37億円

- 空スペース営業：新規および得意先の深堀りによる領域拡大
- 収益管理の徹底：個社収支から事業収支へ：権益を持たない、徹底した効率化を追求
- 得意先採算管理の強化：有償・無償サービス明確化/不採算要因の解消

➤ ネットワーク再編

3カ年の拠点投資
120億円

- エリア機能の強化：東北、関東（首都圏）、関西、九州エリアを中心に物流網再編
- 拠点の位置づけ明確化：共同・専用の得意先デポ配置見直しによる競争力向上
- 老朽化拠点の方向付け：スクラップ&ビルドにより効率を上げ最適化

➤ 運送機能の再構築

モーダル化含めた輸送方法変更
幹線輸送の30%を転換

- 幹線輸送力の強化：モーダル化の推進/クロスドック/トレーラー
- 小口配送対応力の強化：サービスの見直し/2層式1 tバン/FCD3+1
- TC機能の強化：地方と都内配送機能の再構築

グループの強みに磨きをかけ、感動や喜び、満足を提供

規模だけでなく質でも業界をけん引する企業グループをめざす

人材の確保・育成の強化

- ▶ 多様な人材の活躍推進
- ▶ 研修制度、人事労務制度の拡充
- ▶ 協力会社拡大/M&A・提携検討

ユニークなサービス・技術の創出

- ▶ 情報システム支援強化
- ▶ フレキシブル車両の進化
- ▶ 無人化・省力化、作業補助機器

グループ品質基準の構築

- ▶ PPM活用による基準構築
- ▶ グループにてISO単独認証取得
- ▶ KRSGクオリティスタンダード構築

魅力ある職場づくり

- ▶ 労働環境整備/作業体制見直し
- ▶ 標準化/シンプル化の推進
- ▶ システム活用による生産性向上

3カ年の採用計画
約800名（臨時含）

- | サービス領域の拡大により売上成長と利益体質を強化
- | グループ経営資源の最大活用で、新たな成長ステージの基盤を確立

LLP営業の推進

ノンコアサービス拡大

チルド物流の構築

輸出入分野の基盤構築

新規・領域拡大の施策利益
23億円

參考資料

参考資料：2016-2018中期経営計画 連結業績目標

12

	15.11実績	18.11計画	15.11差	増減%
営業収益	1,535億円	1,600億円	+64億円	+4.2%
営業利益	40億円	50億円	+9.7億円	+24.2%
営業利益率	2.6%	3.1%	-	-
経常利益	40億円	50億円	+9.9億円	+24.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21億円	26億円	+4.9億円	+23.3%
ROA	6.0%	6.5%	-	-
ROE	7.4%	8.0%	-	-

	13-15 中計	16-18 中計
設備投資総額	171億円	240億円
減価償却費総額	107億円	112億円

(単位：百万円)		15.11実績	18.11計画	15.11差	増減%
共同物流事業	営業収益	104,028	100,000	△4,028	△3.9%
	営業利益	2,378	3,000	+621	+26.2%
専用物流事業	営業収益	43,276	53,800	+10,523	+24.3%
	営業利益	1,406	1,700	+293	+20.9%
関連事業	営業収益	6,236	6,200	△36	△0.6%
	営業利益	267	320	+52	+19.6%

(注1) セグメントには、消去は含まれておりません

(注2) セグメント区分の変更

16.11期より、当社組織の見直しによる区分変更と、専用物流事業に区分しておりました一部の子会社について、共同物流事業の区分に変更します。15.11期実績は変更後の数値を記載しております。

注意事項

この説明会資料に掲載されている情報のうち、過去の歴史的事実以外のものは、現在入手可能な情報に基づく当社経営陣の判断による将来の見通しであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおりますので、過度の信用をおかれませんようお願いいたします。

内容については、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、この説明会資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、皆様ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

取締役執行役員管理本部長 笹島 朋有
経営企画室長 高山 典之
TEL 042-441-0711